

伊能忠敬記念館の国宝展示【平成28年1月26日～3月21日】

- 大図「自江戸歴尾州赴北国到奥州沿海図 第十三〈自橋立／至宮越〉」 国宝：地図・絵図類 番号27
加賀の小松や金沢などが描かれています。

第四次測量の享和3年6月27日に橋立村を出立して、安宅浦から加賀藩領に入ります。案内の村役人に村高や家数等を質問しても、「領主より指図なし」として答えようとしないうえに加賀測量が始まりました。7月2日の宮越村から金沢城下までは、「測量に量程車を用」ています。

- 大図「自江戸歴尾州赴北国到奥州沿海図 第十四之一〈自宮越／至東岩瀬／及氷見／又至分道今浜〉」
国宝：地図・絵図類 番号28

第四次測量の加賀の羽咋、越中の氷見、富山城下などが描かれています。

- 大図「自江戸歴尾州赴北国到奥州沿海図 第十五〈自東岩瀬／至哥〉」 国宝：地図・絵図類 番号31
第四次測量の越中東部の滑川、魚津、越後の「親しらず子しらず難所あり」などが描かれています。

- 大図「自江戸歴尾州赴北国到奥州沿海図 第十六〈自哥／至今町〉」 国宝：地図・絵図類 番号32
第四次測量の越後の糸魚川、直江津などが描かれています。糸魚川事件の舞台ということで、併せて次の日記が展示されています。

- 「享和三癸亥歳沿海日記 下」 国宝：文書・記録類 番号74
伊能忠敬測量日記から、忠敬が糸魚川事件について弁明した部分が展示されています。

- 大図「自江戸歴尾州赴北国到奥州沿海図 第十七〈自今町／至柏崎／又越後街道／至関山〉」
国宝：地図・絵図類 番号33

第四次測量の越後の直江津から柏崎までの海岸線、第三次測量の享和2年10月1日から7日にかけて測量した直江津から高田、関山までの北国街道を描いています。

**以上の大図5舗は展示ケースの壁面に展示されているため、肉眼で細部を見ることは困難です。
今回の国宝展示の見所は次の二舗です。これは平面のケースで展示され、測線や地名も確認できます。**

- 大図「越後街道図 第五〈自上田／至关山〉」 国宝：地図・絵図類 番号58
第三次測量の享和2年10月7日から12日にかけて測量した、越後の関山から信濃の柏原、牟礼、善光寺、下戸倉、上田城下までが描かれています。善光寺に参詣したものの、「犀川大水に付、川留」が二日間となります。

- 下図「自信濃国水内郡飯山町至信濃国埴科郡屋代宿下図」 国宝：地図・絵図類 番号279
第八次測量時の文化11年4月29日の信濃の善光寺から浅野、飯山へ、飯山から反転して千曲川東

岸を南下して小布施、須坂、松代、屋代へという測量ルートで、墨で測線が描かれています。また、飯縄山や黒姫山からは朱書きの方位線が引かれています。なお、この下図には第三次測量時の牟礼～善光寺～下戸倉の測線は記載されておらず、第八次測量時の測線だけです。

1月20日のシンポジウムで徳島大学本伊能図の鮮明な針穴を見た後だけに、肉眼で針穴を確認することが難しいのは残念ですが、梵天の印や、㊦のような測量杭の符号は明瞭です。縮尺は1/36000です。善光寺付近については、第八次の下図と第三次の大図を比較することができます。

○ 文書類

- ・「陸奥三馬屋以西東海測量申渡」国宝：文書・記録類 番号 269

享和2年6月3日付の高橋至時から伊能忠敬あての第三次測量の辞令です。

- ・「測量心得申渡」国宝：文書・記録類 番号 270

第三次測量に関する高橋至時から伊能忠敬あての測量御用心得です。

- ・「測量諸事申渡」国宝：文書・記録類 番号 271

享和3年2月18日付の高橋至時から伊能忠敬あての第四次測量の辞令です。

今回の大図の展示は、長野・糸魚川・富山・金沢と北陸新幹線開通をお祝いしたかのようです。また、大河ドラマ真田丸の舞台となった上田や松代も登場し、「真田」の字も見えます。

(佐原本川岸T生)